

宮中取水ダム減水区間における 平成27年度モニタリング調査結果の まとめと評価(案)

平成28年3月29日

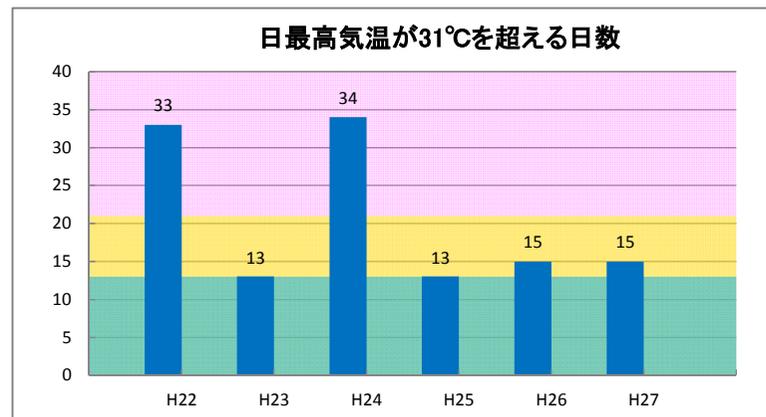
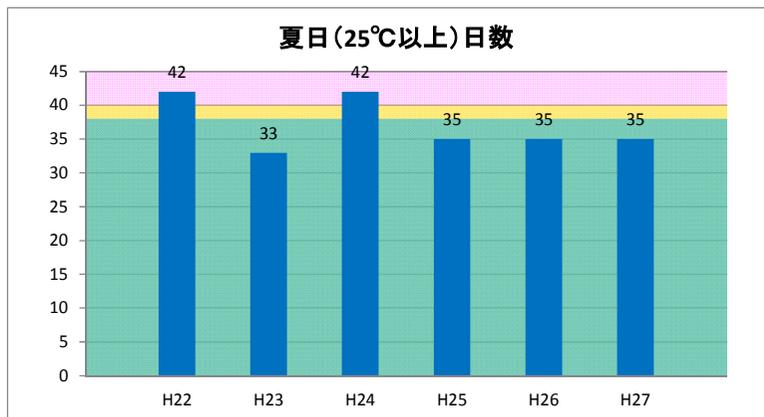
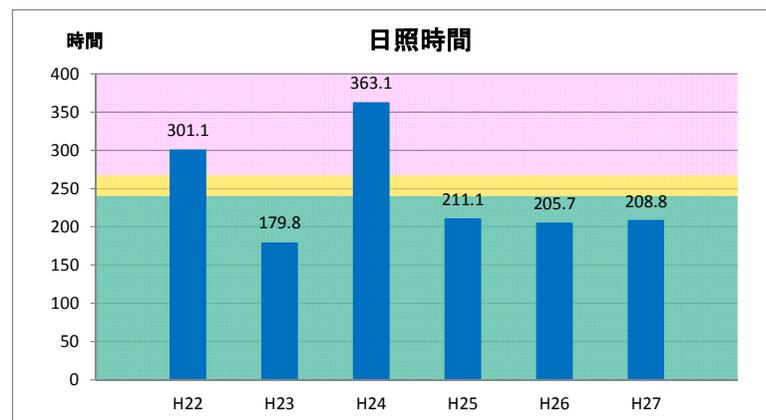
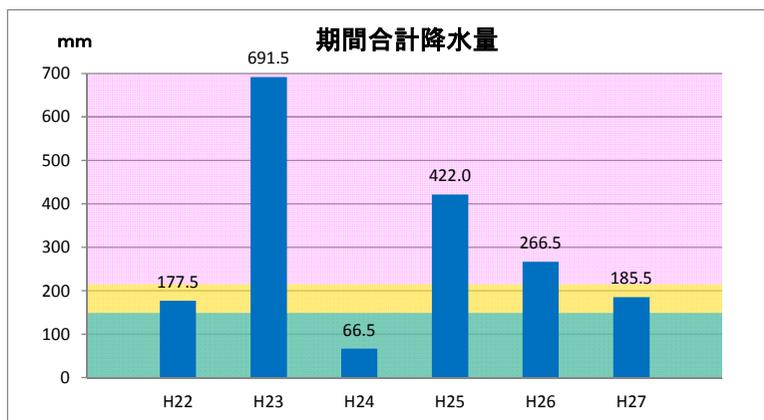
信濃川中流域水環境改善検討協議会

目 次

1. 夏季高水温期の気象の状況……………1
2. 河川水温……………2
3. 魚類の生息及び遡上・降下 ……3
4. 平成27年度モニタリング調査結果のまとめと評価(案) ……6

1. 夏季高水温期の気象の状況

- 平成27年度の夏季高水温期の降水量、日照時間、夏日の日数、日最高気温が31℃を超える日数は、平年と同程度であった。



注1) グラフは気象庁十日町地点における観測データから整理した。

注2) 各年のデータは夏季高水温期(7/26~9/5)における観測値を整理したものであり、区分は過去30年間(1981~2010年)の同時期のデータを順位により3区分したものである。

平年より多い(1~10位)
 平年並(11~20位)
 平年より少ない(21~30位)

2. 河川水温

- 平成27年度の日最高水温が28℃を越えた日数は、調査区間全体で見ると12日であり、平成22～26年度の平均程度であった。



		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H22～H26の平均
日最高気温が31℃以上の日数		33	13	34	13	15	15	21.6
最高水温が28℃を超えた日数	十日町橋	7	0	22	7	0	1	7.2
	栄橋	21	3	23	9	5	12	12.2
	川井大橋	10	1	19	8	4	11	8.4
	調査区間全体	22	3	23	9	5	12	12.4

注1) H22年度は、十日町橋のみ28℃を超えた日が1日だけあるため、調査区間全体では22日となる。

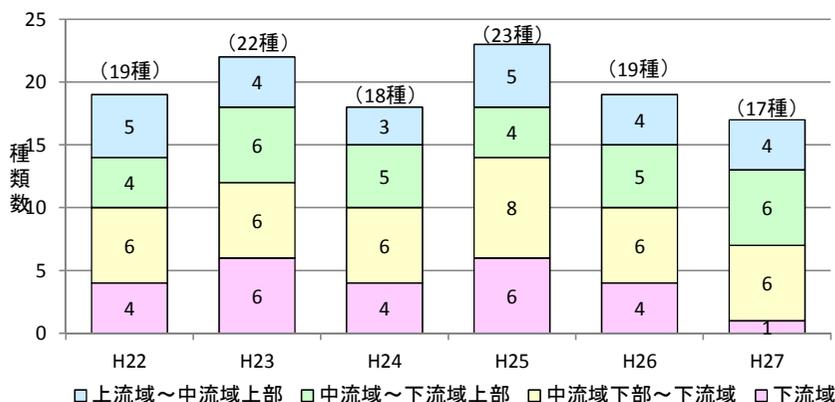
注2) 宮中取水ダム下流では、日最高気温(十日町観測所)が31℃を超える日数が増加すると、最高水温が28℃を超える日数が増加する傾向がみられる。

3.魚類の生息及び遡上・降下調査

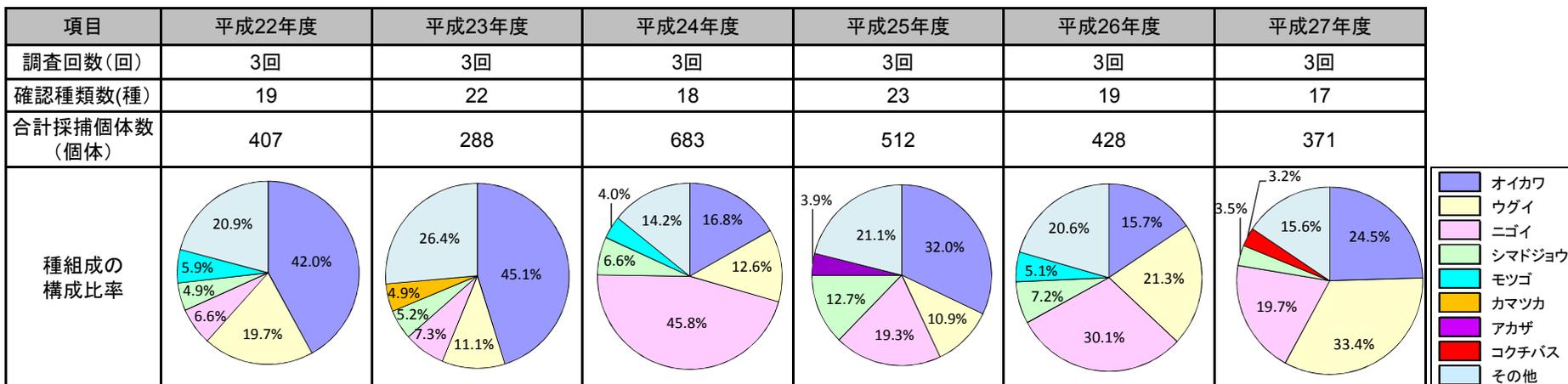
3.1 魚類生息確認状況(1/2)

- 平成27年度に宮中取水ダム減水区間（十日町橋地点）で確認された種類数は、春季、夏季、秋季合計で17種であった。
- 種類数を過年度と比較すると、季節や生息区分による大きな変化は見られなかった。

〔確認種数〕



〔種組成〕



3.1 魚類生息確認状況(2/2)

- 平成27年度の冷水性魚類の確認種類数は5種であり、過年度と比較すると変化の傾向は見られなかった

冷水性魚類の確認状況(十日町橋地点)

種名	H22	H23	H24	H25	H26	H27
シマドジョウ	○	○	○	○	○	○
アカザ	○	○	○	○	○	○
アユ	—	○	○	○	○	○
ニッコウイワナ	—	—	—	—	—	—
ニジマス	—	—	—	○	—	—
サケ	—	—	—	—	—	○
ヤマメ	○	—	—	—	—	—
カジカ	○	○	○	○	○	○
種類数計	4	4	4	5	4	5

注1) 上記の8種は、調査対象としている冷水性魚類である。

注2) 「—」で示した魚種は、確認されていないことを表している。

注3) 平成27年度のサケは、秋季調査(10月)において魚類調査時に2個体が確認されたものであり、「モニタリング調査結果報告の3-2-2 サケ遡上調査結果の経年変化」に示した宮中取水ダム(魚道)のトラップ調査での捕獲数には含まれていない。なお、トラップ調査では、H22~27のいずれの年もサケが確認されている。

3.2 サケ遡上調査

- 平成27年度に、宮中取水ダム魚道で採捕されたサケは、9月11日～11月10日の期間で1,514個体であった。
- 平成27年度の捕獲数は平成22年度以降では最大であった。

宮中取水ダム減水区間における 平成27年度モニタリング調査結果のまとめと評価（案）

項目	まとめと評価
河川水温	・夏季高水温期(7/26~9/5)に最高水温が28℃を超えた日数は、過年度の平均程度であった。
魚類の生息及び遡上・降下	・確認された種類数は、過年度と比較して大きな変化は見られなかった。
	・捕獲されたサケは1,514個体であり、平成22年度以降では最大であった。

宮中取水ダム減水区間における 平成28年度モニタリング調査計画(案)

項目	調査内容	調査時期	調査地点
河川水温	水温実測	夏季の高水温期 (7月26日～9月5日)	宮中取水ダム(魚道)、 十日町橋、栄橋、川井大橋
魚類の生息及び 遡上・降下	生息・生育状況調査	春季、夏季、秋季に各1回	十日町橋
	サケ遡上調査	サケの遡上期 (9月11日～11月10日)	宮中取水ダム魚道

※第26回信濃川中流域水環境改善検討協議会(H27.3)によって決定された調査計画及び平成27年度モニタリング調査計画と同じ調査内容です。